

# 2017(平成29)年度事業報告

2017(平成29)年4月1日から2018(平成30)年3月31日まで

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

## 1 事業報告の要約

東日本大震災から6年が経過した。沿岸部の被災各地ではハード整備が続けられており、いまだ復興計画の途上の段階にあった。長引く仮設住宅での見守り体制や災害公営住宅や高台移転によるコミュニティの再構築の課題に加え、もともと東北地方に存在する若者流出や過疎化などの問題が重なり、ますますソフト対策が重要となった。さらに、原発事故を抱えた福島県では、仮設住宅家賃供与の停止や避難指示の解除など、帰還政策が矢継ぎ早に出されるも、肝心の県民の意識が追い付いていない。この間、極めて複雑に絡まった糸がなかなかほどけない状態のまま、個々の抱える課題だけは、ますます深刻化・個別化している。

一方、熊本地震による被災者は、ようやく仮設住宅に入居したのもつかの間、恒久住宅への移転や復興まちづくりという根本的な課題に向けた取り組みが本格化した。ただし、全国的にも風化は顕著で、息の長い支援が求められている。

こうした現状を踏まえ、宮城県七ヶ浜町での継続的支援は、生の声を聞き、被災者のニーズに対応してきた当法人への期待となって、行政からも住民からも支持を得ており、本年度も、スタッフを常駐させた。特に、7月には「みんなの家きずなハウス」(みんなの家プロジェクトと当法人の共同事業)が完成し、地域の賑わい・憩いの場としての活用方法を新しく創造していく場所が定まった。また七ヶ浜の若い世代が、自分たちの町の魅力を伝えたいと積極的に活動していることへのサポート活動を継続した。愛知県への県外避難者への支援は、愛知県被災者支援センター運營業務を通じて継続した。また、福島県民の生活再建支援(帰還支援含む)と交流事業も継続した。

熊本地震については、2016年末まで常駐体制を敷いた御船町を中心に、仮設住宅等の訪問等による支援や被災した集落や小規模店舗への生業支援、御船町の子どもたちと愛知・岐阜の子どもたちとの交流ツアーなどを企画し、支援活動を継続した。

集中豪雨水害に対しては、タイムリーな支援と同時に、避難所環境改善支援など専門性のある支援がムラなく行えること、また、JVOADの枠組みを活用しつつ、災害支援団体間はもちろん、内閣府、地方自治体、企業等多様なセクターとの連携強化をめざした。

平常時の活動では、地域や子ども向け防災啓発活動、避難行動要配慮者支援、避難所運営、外国人支援などをキーワードに、地域ニーズに沿ったアプローチを丁寧に開拓・提供していくことを目標にし、以下の事業を実施した。

## 2 事務局体制

【名古屋事務局】専従職員3名、嘱託職員5名、アルバイト5名

【七ヶ浜みんなの家きずなハウス】嘱託職員2名、アルバイト6名(現地採用)

【愛知県被災者支援センター】派遣嘱託職員2名、派遣アルバイト2名

## 3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

被災者支援事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
東 日 本	七ヶ浜町基本支援	RSY ■みんなの家きずなハウスの運営(駄菓子・ボーちゃん焼きの販売、コミュニティスペースの運営(月間1,100名が利用)) ■外部支援者の受け入れ・コーディネート
	復興庁「心の復興事業」(七ヶ浜町補助金事業)	RSY 災害公営住宅・防災集団移転地住民への支援 ①きずな食堂の開催②クリスマス、餅つき等の交流イベントの開催 7月8日/菖蒲田浜地区魚釣り&昼食交流会/31名 7月21日/七ヶ浜みんなの家きずなハウスオープニングセレモニー/約500名

大 震 災 支 援 関 連			<p>9月18日/きずな食堂 in 松ヶ浜/61名  10月15日/笹山地区きずな食堂「ちゃせごの会」/67名  11月18日/菖蒲田浜地区ぼっけ汁祭り/約140名  12月16、17、23日/子どもサンタがやって来る（吉田浜、代ヶ崎浜、笹山、松ヶ浜、花洲浜、菖蒲田浜各地区の災害及び防災集団移転団地約222戸訪問）/64名  12月17日/花洲浜地区クリスマス会/104名  1月28日/代ヶ崎浜もちつき交流会/94名  3月3日/きずなハウスフェスティバル/124名  3月28、29日/七ヶ浜住民と県外避難高校生との交流会/20名</p>
	絆力（宮城県補助金事業）	RSY	<p>町民活動団体同士の繋がりづくり、活動支援  ①「きずなネット」立ち上げとネット会議の開催（2ヶ月に1回）  ②参加団体活動支援（対象団体8団体）③学習交流ツアーの開催（年2回）  9月17日/きずなネットまつり/71名  9月30日/第1回きずなハウスをみどりでいっぱいにしよう！プロジェクト（寄せ植え）/11名  10月7日/親子防災ワークショップ/21名  10月15日/第2回きずなハウスをみどりでいっぱいにしよう！プロジェクト（苗木植栽）/10名  10月22日/被災地学習・交流日帰りバスツアー（南三陸町）/43名  11月11日/松ヶ浜花の和と向洋中学校Fプロジェクトによる花壇づくり/21名  11月11日/第3回きずなハウスをみどりでいっぱいにしよう！プロジェクト（畑作りと苗木植え）/15名  11月16日/ちびはまっこプレーパーク①/15名  11月23日～26日/マザーファーム「産直野菜販売」/45名  12月1日/ボランティア友の会定例会とリース作り/20名  12月13日/大人カフェ&amp;松ヶ浜フェア/20名  12月14日/ちびはまっこプレーパーク②/10名  12月28日/向洋中学校Fプロジェクト活動報告会/25名  1月17日/おりおり 糸紡ぎワークショップ①/10名  1月21日/きずな工房 ミシン教室/14名  1月31日/おりおり 糸紡ぎワークショップ②/5名  3月4日/おりおり フラッグ作りワークショップ/18名  3月10日/はまのわ BookCafe&amp;写真集のお披露目会/15名  3月18日/被災地学習・交流日帰りバスツアー（気仙沼）/43名  3月23日/第4回きずなハウスをみどりでいっぱいにしよう！プロジェクト（芝張りと植樹）/22名</p>
	ネットワーク		<p>■東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）への参画  ■愛知県被災者支援センター（愛知県委託事業/事務局担当）  ■東日本大震災支援ボランティアセンターなごやへの参画</p>
	県外避難者支援	RSY	<p>愛知県被災者支援センター業務・福島県受託事業の運営、活動を通じて繋がった被災者を対象に、サロン活動など。3月28日～30日に避難してきた高校生と被災地の学生との東北交流ツアー企画を実施。</p>
緊急救援	RSY	<p>災害現場へのスタッフ派遣、資機材送付  ■九州北部豪雨（7月5日発災）  7月6日よりスタッフ1名を派遣し、主に大分県日田市にて支援活動を継続。日田市災害ボラセン運営支援、閉所後の9月1日からは、地元NPOらが主体となった「ひちくボランティアセンター」の運営支援を実施。8月26日に被災地NGO協働センター主催の大鶴地区の子ども達約30名が参加した「山へ行こう（鯛</p>	

		<p>生金山)」へ協力。震つな加盟団体と協力し、10月末までに大鶴地区にて7度の足湯ボランティアを実施。日田市へのスタッフ派遣（現地滞在）は10月末日をもって終了し、その後は通いにて支援を実施した。7月12日～7月末までスタッフ1名を派遣し、福岡県朝倉市にて支援活動を実施。主に避難所の環境整備、行政や支援団体との情報共有会議等を行なった。「黒川復興プロジェクト」への寄付金呼掛け、中部土木株式会社様からの支援を通じてトイレカーの貸与を橋渡しした。</p> <p>震つなとして、日田駅近くにボランティアらも宿泊できる「日田ベース」を設け、運営を実施。（12月末終了）</p> <p>7月6日に日田市社協の依頼があり、7日に資機材発送、13日には朝倉市社協から依頼があり、14日に資機材発送。</p> <p>7月8日、9日、8月5日、6日、9月10日に名古屋駅ナナちゃん人形前で街頭募金を実施。</p> <p>日田市へ貸与していた資機材は2月18日、朝倉市へ貸与していた資機材は3月15日に受入れた（全部返却済）</p> <p>7月30日よりJVOADとして現場視察した上で、震つなスタッフ1名を派遣し、大仙市災害ボラセンの運営支援、技術系ボランティアのアテンドなどを実施。</p> <p>震つな作成「水害にあったときに」冊子版2,000部送付。</p> <p>■台風18号（9月17日発災）</p> <p>大分県佐伯市・津久見市・臼杵市などで宅地への土砂流入や住家の浸水被害等があり、日田市入りしていたスタッフ2名が被害状況調査のため9月18日に現地入り。佐伯市社協からの依頼により、日田市（ひらくVC）にある資機材一式を9月19日に搬送。津久見市社協からの依頼により9月19日に名古屋から資機材一式を搬送。後日、臼杵市社協からも資機材貸与の依頼があり、日田市（ひらくVC）にある資機材（少量）を臼杵市に搬送。</p> <p>震つな作成「水害にあったときに」冊子版3市合計1,000部搬入。</p> <p>■台風21号（10月23日発災）</p> <p>全国各地に浸水被害等があり、三重県伊勢市社協より資機材貸与の依頼あり。先の台風18号対応として大分県内に貸与していた資機材を伊勢市に回すよう手配。資機材到着に合わせてスタッフ1名派遣。以降、震つな関係団体等と協力し、玉城町にスタッフ1名を派遣。「水害にあったときに」冊子版1市1町合計600部搬入。その後伊勢市社協よりチラシ版500部送付依頼あり、対応。伊勢市社協に貸与していた資機材は、12月7日に返却受け入れ。</p> <p>■振り返り&amp;検証</p> <p>震つなとして、今年度緊急救援活動に関わった団体を対象に、振り返りと検証を3月28日に開催。</p>
「うるうるパック」配布	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）	被災地（東北被災3県、熊本県等）へのうるうるパックの配布。 東北3市町（岩手県釜石市、大槌町、福島県浪江町）熊本県9市町村（熊本市、御船町、南阿蘇村、阿蘇市、山都町、合志市、菊池市、八代市、益城町）へ発送。
災害ボランティア活動資機材の調査	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）	実行委員会を設置し、全国に点在する災害ボランティア活動資機材の実態等を調査する企画立案、事務局担当。
福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業	ふくしま連携復興センター	福島県から岐阜・三重の二県に避難している方の帰還や定住等の生活再建に向けた相談窓口（相談件数:23件）。福島県の支援策情報を避難者へ提供する相談交流会の開催（10月1日。岐阜みどり病院にて実施。参加避難者7世帯20名）。

		三重県湯ノ山温泉にて交流相談会実施。避難者1名、支援者3名参加。3月4日。
福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業 (福島県補助金事業)	RSY	■福島県から岐阜・三重県に避難している世帯に対する戸別訪問事業(戸別訪問9件(6~3月実績)。■愛知・岐阜・三重の3県に避難している世帯対象の福島県復興体感ツアー(11月25~26日。参加者:16世帯41名)
小規模集落のコミュニティ再生と震災の風化防止のための交流事業 (ボラサポ九州助成事業3次)	RSY	熊本地震の被災者の生活再建支援と、集落の活性化に繋がる交流・生業支援事業。8月24日~26日御船町自然体験交流ツアー実施。岐阜市本荘小学校、名古屋市東山学区の子どもたち計10名が参加。御船町滝尾小学校の児童および上野地区集落の皆さんとの交流。キャンプや川遊びを通じて自然体験。9月末完了。
避難先(借り上げ・建設型仮設住宅)と避難元地域住民のためのきずな再生事業 (ボラサポ九州助成事業4次、生活協同組合連合会アイチョイス寄付金)	RSY	連携先の御船町地域支え合いセンターの事業計画変更により内容変更。①御船町滝尾小児童と岐阜県本荘小・東山学区児童との防災交流企画の実施(2月9日~10日。滝尾小の児童、教員、保護者が、岐阜市本荘小、名古屋市千種区東山学区住民らを訪問。参加者:子ども17名、大人15名)②上野地区産業支援。被災した高齢小規模農家の米12表をアイチョイス様に「復興米」として販売協力いただいた。
周年	RSY・各地の被災地	■阪神・淡路大震災周年の各種事業に参加(1月17日、参加者:スタッフ・ボランティア15名)■東海豪雨を語り継ぐ集いへの参加等。■東日本大震災周年行事参列
東日本大震災犠牲者追悼式(名古屋市内で実施)	東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会	愛知・名古屋のNPOなど団体が実行委員会形式で行っている追悼式。献花、14:46の黙とう、キャンドル点灯、追悼のメッセージ(宣言文)の読み上げをし、追悼と風化防止に努めた。今年度は、持ち回りで実行委員長と務めた。
復興支援	RSY	■被災地復興イベント支援■被災地と被災地をつなぐ。
ぼくの夢、わたしの夢 (FOR子ども支援基金)	RSY	東日本大震災で、東海3県に避難している子どもたちの叶えたい夢を応援する活動。将来の夢について作文を募集し、入選者には、その欲しいものを届け、その後の活用の様子などをレポートしてもらう企画。3回目。2月8日選考委員会開催。3月募集開始。
<b>調査研究・出版事業</b>		
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>
大学連携	名古屋大学	名古屋大学減災連携研究センター社会連携推進会議委員
大学連携	名古屋工業大学	高度防災工学センターとの連携事業、NPO法人達人塾ネット設立への参画など
大学連携	名古屋学院大学	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の一環として、「減災福祉まちづくり学・演習」講師受託。
<b>人材交流・ネットワーク推進事業</b>		
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>
会員寄附拡大	RSY	賛助会員、寄附者拡大施策。ボランティアの拡大も含む
RSY ボランティア DAY	RSY	主に RSY 企画の実施時に、広くボランティアを募集して活動していただく 4月24日/RSY 大口町倉庫/13名/うるうるパック化作業 4月28日/RSY 名古屋事務所/3名/あるある発送作業 6月23日/RSY 大口町倉庫/15名/うるうるパック化作業 7月3日/RSY 名古屋事務所/2名/あるある発送作業 7月7日/名東倉庫/22名/大分県日田市へ資機材発送 7月8日/名古屋駅ナナちゃん人形前/22名/街頭募金 7月9日/名古屋駅ナナちゃん人形前/40名/街頭募金 7月14日/名東倉庫/12名/福岡県朝倉市へ資機材発送

		<p>7月29日/ボートレース蒲郡/12名/うみ・みなと・蒲郡2017ブース運営</p> <p>7月30日/ボートレース蒲郡/11名/うみ・みなと・蒲郡2017ブース運営</p> <p>8月5日/名古屋駅ナナちゃん人形前/15名/街頭募金</p> <p>8月6日/名古屋駅ナナちゃん人形前/19名/街頭募金</p> <p>9月1日/RSY名古屋事務所/4名/あるある発送作業</p> <p>9月10日/名古屋駅ナナちゃん人形前/4名/街頭募金</p> <p>9月10日/名古屋駅ナナちゃん人形前/4名/街頭募金</p> <p>9月16日/オアシス21/3名/名建協40周年記念イベントブース出展</p> <p>9月18日/名古屋駅ナナちゃん人形前/8名/街頭募金</p> <p>9月19日/名東倉庫/9名/大分県津久見市へ資機材発送</p> <p>10月1日/名城公園/2名/tonarinoブース出展</p> <p>10月12日/大口町倉庫/14名/うるうるパック化作業</p> <p>10月18日/大口町倉庫/11名/うるうるパック化作業</p> <p>10月23日/大口町倉庫/15名/うるうるパック化作業</p> <p>10月30日/大口町倉庫/8名/うるうるパック化作業</p> <p>11月3日/オアシス21/4名/HAPPYタウンなごやブース出展</p> <p>11月25日/愛知大学名古屋キャンパス/2名/防災フェスタ in なかむら・なかがわブース出展</p> <p>12月7日/名東倉庫/7名/三重県伊勢市からの資機材搬入作業</p> <p>1月7日/栄三越ライオン像前/27名/RSY新年事初め募金</p> <p>1月15日/大口町倉庫/12名/うるうるパック化作業</p> <p>1月23日/大口町倉庫/7名/うるうるパック化作業</p> <p>2月18日/名東倉庫/5名/大分県日田市の資機材搬入作業</p> <p>2月23日/ナゴヤドーム/4名/ハッピーママフェスタブース出展</p> <p>2月24日/ナゴヤドーム/6名/ハッピーママフェスタブース出展</p> <p>3月17日/アピタ大府店/5名/あそぼうさいまぼうさい in 大府</p>
名古屋ネット	名古屋市など	<p>■なごや災害ボランティア連絡会/なごや防災ボラネット参画</p> <p>■三遠南信交流会9月9日湖西市開催■子ども防災デイキャンプ5月13日実施■名古屋市職員研修受入2名。</p>
愛知県ネット	愛知県など	<p>愛知県防災会議・同幹事会出席。防災のための愛知県ボランティア連絡会・定例会議出席。あいち防災協働社会推進協議会定例会出席。県二年目研修生受入。12名。</p>
岐阜県ネット	岐阜県など	<p>岐阜県災害ボランティア連絡会出席。清流の国ぎふ防災・減災センターコーディネーター委嘱、コーディネーター会議、げんさい楽座への参画、岐阜県防災リーダー育成研修講師など</p>
東海圏ネット	静岡県ボランティア協会など	<p>静岡県ボランティア協会：静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練参加、同訓練ワーキンググループへの参画。市民サミットへの参画。</p>
全国ネット	全国のNPO・NGO・社協・企業など	<p>東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)代表世話人、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)幹事、震災がつなぐ全国ネットワーク(震つな)事務局担当・代表・事業担当。NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)代表理事・運営委員・避難生活改善に関する専門委員会・技術系専門委員会担当</p>
NPO ネット	名古屋市内NPO等	<p>中間支援NPOなどとの交流・連携。東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会参加。</p>
愛知県内NPO連携事業(モリコロ助成事業)	RSY	<p>災害関連のNPOにとどまらず、大規模災害時を見据えて、事前のネットワーク化に取り組む。2年目の取り組みとして、</p>

		「ボランティア団体・NPO・NGO等市民セクターのための『南海トラフ巨大地震』対応・連続講座」を開催。 11月24日/避難所対応/43名 12月16日/災害ボランティアセンターとの連携/44名 1月18日/行政セクターとの連携/37名 2月20日/中間支援組織の対応/30名 3月15日/外国人への対応/39名
東海地域避難者支援ネットワーク化推進事業(タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム助成事業)	RSY	東海地域避難者支援ネットワーク化推進事業の3年目。愛知・岐阜・三重・静岡4県のネットワーク間の連携の実績も積んでいく。7月30日避難者支援連絡会実施。1月21日～22日避難者支援連絡会の他地域研修(京都・岡山)を実施。3月21日避難者支援連絡会実施。
中日サバイバルキャンプ	中日新聞事業部	RSYは企画、監修。10月21、28-29日実施。参加者約90名。豊田市鞍ヶ池公園
あそぼうさいまなぼうさい(コープあいち助成事業)	RSY	あそぼうさいまなぼうさいの人気ブース運営を自前でできるよう備品整備を中心に、インフラ整備し、実施。
海でつながるプロジェクト2017	蒲郡市	蒲郡市のボートレース場で行われる近隣住民むけ家族防災イベントの防災コーナーを担当。7月29、30日実施。参加者約300名。
あそぼうさいまなぼうさい in リーフウォーク稲沢	稲沢市	ユニー(株)と共同で、稲沢市の協力も得て、ショッピングモールでの子ども向け防災イベント。11月26日実施。参加者約700名
あそぼうさいまなぼうさい in 大府	大府市社会福祉協議会	アピタ大府店に協力要請し、ショッピングモールでの子ども向け防災イベント。3月18日実施。参加者1000名超
啓発イベント等	RSY	2月17日三陸&東海防災フェスティバルに協力。参加者216名。 2月25日炊き出しイベント(中部リサイクル運動市民の会、セカンドハーベスト名古屋と共同企画)参加者75名
多文化防災ネットワーク	多文化防災ネットワークあいち・なごや	愛知・名古屋の災害時の外国人支援について、学び、連携を強化していく活動。RSYは発起人。参加。
社会見学・学生インタビュー、インターン受け入れ	RSY	中学生の社会見学:桑名市立陽和中学校生、名古屋女子大学附属中学校他。高校生インターン:名古屋市立工芸高校生、聖霊高校生他。大学生:名古屋学院大生、名城大生、
移動寺子屋事業	震つな	6月3日@とちぎ、10月22日@静岡、3月18日@三重(共催:みえ防災市民会議)を開催。
新基金設立準備会	RSY	モリコロ基金の終了に伴い、ボランテリネイバーズが主導して新しい基金の創設について協議する準備会に参画。2月に一般財団法人中部圏地域創造ファンドが設立され、設立発起人に名を連ねた。3月17日設立報告会に参加。
養成講座・研修事業		
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>
防災人材育成(防災・減災カレッジ)	あいち防災協働社会推進協議会	事務局を担当。
みずから守るプログラム	愛知県	ハザードマップ作り(2市2区)大雨行動訓練(1市1区) 8月20日に清須市新川第四町内会で手づくりハザードマップまち歩きを実施。9月2日に安城市篠目町内会で大雨行動訓練を実施。9月10日に安城市横山町内会で手づくりハザードマップまち歩きを実施。10月22日に清須市新川第四町内会で手作りハザードマップ3日目WS実施し、マップ素案提出。修正版を11月14日に提出。1月21日手づくりハザードマッ

		<p>ブ完成</p> <p>11月19日に安城市横山町内会で手作りハザードマップ3日目WS実施し、マップ素案提出。修正版を11月28日に提出。</p> <p>1月19日手づくりハザードマップ完成</p>
外国人留学生向けの防災教室	名古屋市昭和区	外国人向けの防災教室。南山大学留学生対象。港防災センター見学。非常食紹介。11月1日実施。14名参加
中学校防災講演会	大府市	市内中学校4校を対象とした講演会。
避難所運営	名古屋市中村区	一泊二日の避難所訓練(9月10日、八社学区自主防災組織約100名)及び、障がい者避難所運営マニュアルの作成サポート
地域防災リーダー養成講座	清須市	地域防災リーダー養成のための講座(4月24日、7月10日、11月27日、12月18日全4回完了)
防災ネットきずこう会支援	高浜市	事業者に対する防災・減災対策の推進、防災リーダー養成講座7月1日、事業所向けBCP講習会7月25日。防災リーダー養成講座(フォローアップ編)、外国人向け防災・減災イベント3月18日実施。
災害ボランティアコーディネーター養成講座	瀬戸市	災害ボランティアに関わる講演会、WSなど。
自主防災組織活性化	安城市・安城市社協	自主防災組織支援事業として、西中学校区の自主防災組織による一般避難所開設訓練と自宅から避難所までの避難行動訓練。WS6回・訓練1回、3月17日成果報告会開催、成果物として避難所開設の手引書作成。
減災まちづくり研究会運営支援	安城市	安城市が設置した減災まちづくりの研究会の企画・運営。今年度は「家具等転倒防止」をテーマに年間を通して取り組む。運営委員会3回・研究会3回を実施。3月21日成果報告会開催。
地域防災リーダー育成講座	岐阜県岐南町	地域防災リーダー養成のための講演会。7月23日、11月21日。
各務原市防災ひとつづくり講座	岐阜県各務原市	地域の防災リーダーの養成(10月22日、11月18日、11月19日、12月3日開催、参加者:22名)講演・WSを4日間で実施。
災害VC養成・フォローアップ講座	名古屋市	災害ボランティアコーディネーター養成講座25期9月30日ー10月1日宿泊型。26期12月2,3,10日実施、21名。フォローアップ講座2月3日90名。
名古屋 Shake Out	名古屋 Shake Out 実行委員会	周辺の産官学民の有志が集い、Shake Out(指定された開催日時に参加者が自主的に行う大規模防災訓練)。9月11日当日のほか、実行委員会3回、事前学習会、事後報告会も開催。
防災フェスタ	なごや防災ボラネット	防災啓発イベントのための、防災コーナーでの企画・運営。中村区・中川区合同主催。愛知大学ささしまキャンパス11月25日実施
防災研修事業	日進市	日進市内の自主防災組織への防災対策に関する研修事業 日進市防災推進委員・市職員約50名を対象に、講演会・WS2回、訓練1回(11月21日、12月19日、1月27日)
協働モデル地区事業	蒲郡市	拾石町をモデルに、防災マップづくり、避難所運営学習会・訓練、防災講演会などの企画・運営(6月29日、8月31日、10月26日、11月19日、12月21日全5回実施完了)
豊田市朝日丘地域会議防災事業	豊田市	根川小学校学区の防災意識向上のための取り組みにアドバイザーとして参画。7月より月1回の地域会議、および年1回開催の情報交換会議に参加。10月1日に行われた同学区の防災訓練の監修および当日の講演を担当。2018年1月および3月開催の地域会議に参加。
豊田市梅坪台地域会議防災事業	豊田市	梅坪台地区の2018年度実施事業を決めるための地域会議に参加。
避難所設置体験	椋山女学園	5月21日実施。名古屋市立千鳥小学校体育館。

避難所運営訓練に係る事業	米原市	避難所開設訓練に向けた講演会・WSの実施(7/17、7/31、8/21、9/3の全4回実施完了)
地震災害対応	ナゴヤハウジングセンター	マニュアル策定。避難誘導訓練実施(9月11日実施)。ガイドブック監修。
被災者支援サポーター講座	RSY	災害支援をテーマとした人材育成事業。8月1、22日実施。9月17日実践。
広報関連事業		
<b>事業名</b>	<b>主体・連携先</b>	<b>事業内容</b>
あるある(機関紙)	RSY	年6回発行。ボランティアによる「編集会議」実施(週一回)。会員、その他関係機関などを対象に約600部発行。
Web	RSY	ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信
各種検討会等		
<b>依頼先</b>	<b>内容</b>	
内閣府	■防災ボランティア活動の環境整備に関する検討会 ■防災教育チャレンジプラン実行委員会 ■中央防災会議災害対策標準化推進ワーキンググループ(栗田)	
愛知県	■防災のための愛知県ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■愛知県防災対策有識者懇談会(栗田) ■あいち防災協働社会推進委員会(栗田) ■愛知県防災会議・同幹事会(栗田) ■愛知県防災人材のあり方検討会(栗田) ■愛知県みずから守るプログラム勉強会アドバイザー委員会(栗田) ■愛知県避難所運営マニュアル検討会議(浦野)	
岐阜県	■清流の国ぎふ 防災・減災センター コーディネーター(栗田) ■岐阜県災害ボランティア連絡会(栗田)	
茨城県	■茨城県減災対策検討会議委員(浦野)	
名古屋市	■なごや災害ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■名古屋市市民活動推進協議会(栗田) ■地域福祉に関する懇談会(栗田) ■名古屋市消費者市民社会研究会、防災条例の見直しと防災施策の推進に関する有識者懇談会(浦野)	
愛知県社協	平成29年市町村社協災害対応支援部会(浦野)	
名古屋国際センター	アドバイザー委員会(栗田)	
中央共同募金会	■災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(栗田) ■赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト選出委員会(松山)	
静岡県ボランティア協会	■南海トラフ巨大地震に備えた災害ボランティアネットワーク委員会(浦野・松山) ■ふじのくに国際災害ボランティア支援ネットワーク常任委員会(栗田) ■静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練ワーキンググループ(松山)	
日本災害復興学会	副会長・理事(栗田) 理事(浦野)	
名古屋学院大学	大学COC事業名古屋キャンパス委員会(浦野)	
全国社会福祉協議会	都道府県における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会(松山)、災害ボランティア活動ブックレットシリーズ製作委員会(松山)	
非常勤講師		
<b>依頼先</b>	<b>内容</b>	
至学館大学・同短期大学	総合社会参加(ファシリテーション)論(栗田)	
岐阜大学	防災リーダー育成講座(栗田)	
被災地スタディツアー事業		
<b>事業名</b>	<b>主体・連絡先</b>	<b>事業内容</b>
スタディツアー	RSY	1.17 阪神・淡路大震災23年目に合わせて現地で黙とう等



収益活動に係る事業

事業名	事業内容
印刷代	輪転機・コピー機の有料使用
書籍販売	「被災者が一番伝えたいこと」「避難所運営の知恵袋」震つなブックレット等の販売
物品販売	耐震DVD/防災紙芝居の販売。七ヶ浜きずなハウス/オリジナルクリスマスギフト、バレンタインギフトの販売。
防災用品の開発・販売	防災グッズ(じしんだゾウさんてぬぐい、紙ぶるる等)